

新山協ニュース

▲ 発行者 井出秀雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町3-11-7 藤井信方 TEL 0258-32-4835

最近の登山事情に思う

筑木 力

人それぞれの考え方・やり方で山に登るのはいいが、登山する姿勢が変調を来している事例がなぜか最近目につく。そうした現象を幾つか取りあげ私なりに考えてみた。

競争

一、馬鹿げた百名山早回り
平成八年八月にヒマラヤニストの重広恒夫氏が、百二十三日で完登し世間を驚かせたが、今年七月ニュージランドの男性登山家二人が七十八日で踏破して、重広氏の記録を大幅に更新した。だがそれも

東の間、その一か月後に栃木県の中年男性が単独で挑戦し七十六日間でやり遂げた。それらの詳しい情報が新聞・雑誌で伝えられて話題になった。私の結論は、「まったく馬鹿げている」の一言に尽きる。山の側の諸条件(季節・ルート・天候その他)と、人間の側の諸条件(人数・チームワーク・装備・技術・経験・経済力など)が多様に組み合わせられて展開するのが登山行動であるので、単純な数字上で

の比較はほとんど意味がない。事実栃木県の男性は随分無理したらしい。無理は事故を呼び遭難につながりかねない。こんな競争がエスカレートすると必ず遭難事故が発生する。マスコミは煽動しないでほしい。そして何よりも私達自身

二、中・高年登山の落とし穴

およそ二十年たつ。男性も女性も日常生活の筋から解放され、自然の中に飛び込んで身も心もリフレッシュして、そこに生がいを見つけようとするのは大いに結構なことである。

それにしても初歩的なミスによる遭難事故が増える一方である。新聞などに載らない件もかなりあるという。基本の知識・技術を修得していない人が多し、そんな人達を引率するリーダーにも当然責任

が及ぶ。危険に対する鋭い予知能力、事が起きた際の臨機対応能力、自分の事は自分でする自己救助能力などが強く求められるが、それらの資質を身に付けるのは一朝一夕にはできない。この点で新潟県山岳協会が主催する中・高年登山講習会が果たす役割は、非常に重要である。

三、ペット犬の山への連れ込み

ペット・ブームである。犬や猫は家族の一員である。人間同様部屋に上がり起居して行動を共にしている。だからこのペット特に犬を連れて山に登る人が多い。犬は平地でも毎日散歩させる必要がある。その延長感覚で山にも連れ込む。犬にとっては(いや人間にとっても)ストレス解消に役立つかもしれないが、そこに以外な問題点がある。公園の延長のような低山なら

まだしも、貴重な野生の動植物が生活する高山になると様々な影響が生じる。当の犬と人間はハンティング気分には浸っているのだから、そこに棲む野生の動植物にとつては大変迷惑なのである。犬

が面白がって雷鳥を追い回したり、お花畑を踏み荒らしたり、その排泄物から病原菌をまき散らしたりするからである。尾瀬ではペットの連れ込み全面禁止、本県火打山でも雷鳥などに悪影響を与えるので禁止されている。そこでこうした盲点を一般愛好者に指摘・説明し、啓蒙していく必要がある。(以下次号)



山岳レスキュー講習会に参加して

岩広山岳会

加藤 克徳

残暑の9月6日・7日の2日間、日本山岳協会主催の平成9年度山岳レスキュー講習会に岩広山岳会から3名が参加させていただきました。

会場となった滋賀県立比良山岳センターは、琵琶湖を展望できるたいへん眺めの良い場所にあります。実技講習は同施設の屋根付の可倒式人工壁というすばらしい環境でレスキュー技術を習うことができました。

日山協遭難対策委員会からの講師で渡辺輝男氏、小池正器氏、橋本利治氏の3人の講師により講習は始まりました。

内容は、①ロープワーク ②下降、仮固定とロープ連結部の通過、③岩場での救出、2人パーティーと3人以上パーティーの時、カッティングレスキュー④応急手当、搬送法⑤岩場での救出シミュレーションと2日間て習うにはぎつしりのカリキュラムでありました。

そんな中でも他の山岳団体

し。その後の講習で講師の口調が厳しく感じたのは私だけだったのでしようか。

31名の方々と終始和やかにコミュニケーションができました。夜の交流会もたいへん盛り上がり楽しく過ごせました。関西の方々が多く、いつしか我々も事あるごとに「すんまへん」と言っています。また、1日目の昼食の出来事でした。その日はカレーライスでした。午前中の講習で腹を空かせたのか、大きな鍋のカレーはまたたく間に底をつき、遅れてきた講師が鍋を覗いたときにはもう事遅

振り返れば、山に関してはまだ素人同然の自分が山に登りはじめたのは、山岳救助がきっかけでした。人を助けるために山に入り、技術を磨き、体力を付けるために山に登る。そんな中から、いつしか山遊びを楽しんでいます。遭難救助にかかわったりこのような講習を受けると安全管理に用心深くなり、安全な山登りができるようになると思います。

小田幸男さん(岩広山岳会) 南極越冬隊員に選ばれる

小田幸男さん(岩広山岳会) 南極越冬隊員に選ばれる

南極越冬隊員に選ばれる

岩広山岳会の小田幸男さん(四四才)は、第39次南極地域観測隊員に選ばれ、本年11月14日東京晴海埠頭から出発する。小田さんの任務は、近年注目されてきている極地の環境調査を担当する。本業は、岩船広域消防署の救助係長で、このような職業から選ばれるのは日本でははじめてという。

帰国は一九九九年春になる。県山協では第37次観測隊に長岡ハイキングクラブの片桐一夫さんにつづいて二人目である。

出発に先立ち、去る九月二七日夜村上市内のホテルで地元山岳団体が発起し、一二〇名をこえる出席者により盛大な壮行会が行なわれた。

発起人は、岩船地域の山岳

常務理事会報告

平成9年10月5日

会場 新潟市 厚生年金会館

- 1、協会創立50周年記念事業
- ①中国チアジャジマ峰遠征報告
- ②記念山行 蒜場山登山

③記念誌の発行について

④協会創立50周年記念祝賀会の開催について

⑤記念事業のカンパ報告

⑥第52回大阪国体について

⑦10月24日～28日

⑧3、日山協自然保護総会報告

⑨4、第25回自然保護研修会

⑩5、新年会の準備状況

⑪平成10年1月18日(日)

⑫6、第19回新潟北信越国体の準備状況報告

⑬期日 平成10年7月24日～26日

⑭会場 糸魚川市

⑮7、協会賛助会員について

⑯8、婦人部 青海黒姫山親睦登山報告 6月14日～15日

⑰9、登山技術講習会 岩登り報告 6月21日～22日

⑱10、石川県山岳協会創立30周年記念式典 6月22日

⑳11、全国遭難対策研究会 岩手 7月9日～10日

㉑12、テーピング講習会 新潟市 7月13日

㉒13、中国チアジャジマ峰遠征隊壮行会 新潟市 7月13日

㉓14、クライミング講習会 新奈川県 7月19日～20日

㉔15、弥彦松明登山・高頭祭 7月25日

合計一二五名 (平田大六 記)

16、第18回北信越国体

福井 7月25日～27日

17、自然公園指導員報告書の結果報告について

18、全国高校総体の報告

三条工業高校 総合2位

19、中高山登山教室の報告

長野黒姫山9月6日～7日

20、レスキュー講習会滋賀県

比良山系 9月6日～7日

21、文部省・日山協中高年安

全講習会 石川県9月10日

～12日

22、大阪国体強化合宿

大阪 9月19日～23日

23、小田幸雄(岩広山岳会)

南極越冬隊員壮行会 9月

27日

協会創立50周年記念特別事業募金報告

副会長

平田 大六

本年6月標題の件について、加盟団体にたいし広くよびかけたところ、6月14日から、9月18日までの間に、75の個人並びに団体から寄附をいただいた。総額は90万円と予想以上の金額であり、深く感謝いたしております。

寄附総額 90万円

片桐一夫、遠藤家之進正和、坂井厚、分水山岳会会長川崎吉明、鈴木敏雄、橋本正己、望月力、渡辺富衛、今成幸夫、柏台哲郎、藤田朋子、佐渡山岳会志和良一、藤井洋、五十嵐篤雄、柏崎山岳会、朝日山岳会、小島堅一、小林重弘、森庄一、木野本宏志、新保りさ子、一橋史子、加藤哲治、佐藤房子、諏訪恵一、山田賢吾、杉本敏、飯沼和男、とろっこ山の会長岩崎功、北村猛、高木博朗、土田幸雄、

(有)魚長、本望英紀、平田大六、本間一人、加藤利雄、内藤修、亀田山岳会、吉田光吉、井出秀雄、新潟稜友会、石田国夫、東樹義夫、五十嵐昇、室賀輝男、田辺信行、谷中隆明、三富一弥、横山征平、坂西徹郎、三条秀峰山岳会、渡辺正之、山田智子、清水迪男、滝沢良雄、小田幸男、小林重一、楡井利幸、岩崎功、小田由夫、佐藤一栄、筑木力、加藤いずみ、宮崎幸司、燕山岳会、高橋一郎、荒川ワンダーフォーゲル、むささび会、ゆきみ山の会旭祐善、上村幹雄、関川村山の会、森田健、長岡工業新保雅稔、十日町山路野会根津茂雄

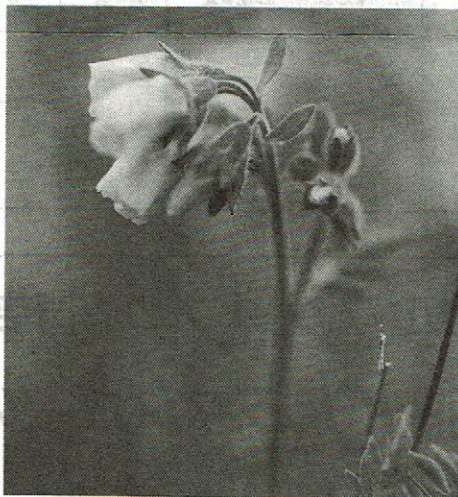


カムチャッカの高山植物 ⑤

むささび会 加藤 明文

キョクチハナシノブ (ハナシノブ科)

分布：ヨーロッパ北部 北米 シベリア (日本に無い)



森林限界附近の草地にただ一ヶ所群生していた。北方系ほど花は大きく数は少ないと聞いていたが、あてはまらず北海道のエゾノハナシノブに似ていて、レブンハナシノブや北岳のミヤマハナシノブに対して半分以下の大きさだった。

花の咲かないシノブ草(シダ類のこと)に対して、花の咲くシダの意味で葉がシダ類そっくりなところから日本名は出来ている……と私の個人的な説であるから当たっているやら。いずれにしても「清純」と云う言葉そっくりの花です。

花の色：紫

テーピング実技講習会に参加して②

悠峰山の会

佐々木 敏 郎

二、テーピングの効果

(1) 関節の特定の動きを任意に制限する：テーピングは関節の特定の動きだけを任意に制限でき、そのほかの動きにはほとんど制限を加えずにすみます。このためスポーツを行うことを可能にしている一方、ケガの予防・再発予防が行なえるわけです。

(2) 靭帯や腱を補強する：このためには解剖学に基づいて、靭帯や腱の位置にそってテープを貼る必要があります。

(3) 圧迫を加える：特に筋肉部分に対して部分的圧迫を加えることが可能であり、また圧迫の強さを加減することもできます。応急処置のテーピングは、内出血や腫れを抑える効果もあります。

ることが可能であり、また圧迫の強さを加減することもできます。応急処置のテーピングは、内出血や腫れを抑える効果もあります。

(4) 痛みを和らげる：不安になった関節を固定し、安定させることにより、痛みを和らげることが出来ます。

(5) 精神的な助けとなる：ケガの再発に対する不安感を取り除くことができます。このためには、テーピングは正確に、きれいに、手際よく行なう必要があります。(以下次号)

お知らせ

専門委員の委員決定

クライミング委員

副委員長 桜井伊佐次

委員 小林重一

堀 昌明

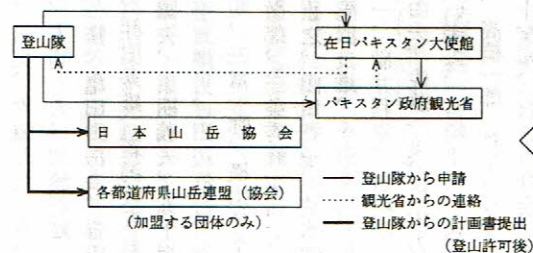
飯沼 聡

パキスタン登山許可

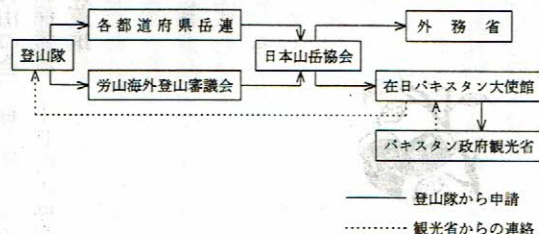
申請の簡素化

一九七〇年代から続いてきた登山許可申請方式を、今後登山隊は日本山岳協会の推薦状なしで直接パキスタン政府観光省へ、もしくは在日パキスタン大使館に対して登山申請ができる方式に変更した旨の連絡が日本山岳協会から連絡が入りました。(下記参照)

【改訂案】



【現 状】



平成9年度11・12月専門委員会行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
9.11.8	理事会	新発田市	総務
9.11.8~9	登山技術講習会(岩登り)	新発田市杉滝岩	指導技術
9.11	北信越5県連絡協議会	富山県	国体
9.11	第52回大阪国体反省会	新潟市	国体
9.11.30	指導員研修会	新潟市	指導技術
9.12	新潟県コーチャサミット	新潟市	国体

日山協・文部省登山研修所等11・12月行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
9.11	第11回東北地区海外登山研修会	秋田市	日山協

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ 新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)